

TICAD フォローアップ (08年5月-09年2月の履行状況)



TICAD での日本の約束

2012年までに

対アフリカ向けODA倍増 (9億ドル 18億ドル)

対アフリカ向け投資倍増を支援 (17億ドル 34億ドル)等

現下の金融・経済危機の中でも、多くの分野で進捗あり。

主な進捗事例

1. 成長の加速化

アフリカ12カ国に貿易・投資促進を目的とした官民合同ミッション(のべ180名)を派遣し、採るべき措置についての提言を含む報告書を作成。また、更に6カ国を訪日招待し、貿易・投資促進シンポジウムを開催。

09年6月、アフリカ・アジア・ビジネスフォーラムを観光をテーマにウガンダで開催予定。

08年5月以降、JBICは計7.4億ドルの金融支援を承諾。

民間セクター向け支援のため、アフリカ開発銀行に3億ドルの円借款を供与済み。

コメの生産高の10年倍増を目指す「アフリカ稲作振興のための共同体」が活動開始。

インフラ整備において、5年間の無償資金協力・技術協力のうち、約36%についてコミットメント済み。

2. MDGsの達成、平和の定着

コミュニティ開発、教育、保健、水・衛生等のそれぞれの分野で多くの支援策が進捗するとともに、平和の定着に向けた取組が進展。

食料危機や人道危機に対し、様々な緊急支援を柔軟に実施。5つのPKOセンターを支援。

3. 環境・気候変動への対処

排出削減と経済成長を両立させ、気候の安定化に貢献しようとする途上国を支援するクールアース・パートナーシップをアフリカの半数以上の27カ国に拡大。

更なる進捗に向けた取組

アフリカのインフラ、農業、水、保健、環境、教育の分野で
計100件以上の
協力準備調査ミッションを
本年前半までに派遣予定。



実施状況の詳細は外務省HPを参照 http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/ticad/tc4_fum.html